

『チアドラゴンズダンスレッスン』 チアドラゴンズ2002年リーダー MIE 先生

『チアを踊ること！それがいつか、彼女達の糧となりますように』

大学在学中、難関のオーディションを突破しチアドラゴンズに。2002年にはそのリーダーへと登りつめたMIE先生。そこはチアドラゴンズキッズとガールズにとって『あこがれの最高峰』です。意外にもダンスとの出会いは高校の部活「バトントワリング部」だったそう。負けず嫌いの努力家でした。大学生活の中で、「踊りたい！」再びの情熱に突き動かされ、本格的にダンスの勉強にまい進していった先生。才能と、それ以上に『努力の華』が開花していくのは、想像にたやすい話です。

先生は現在、南大高の『チアドラゴンズダンスレッスン』の他、受け持つ数々のダンスとチアダンス教室、そのグループ公演集団『M-style』の主宰です。どのチームも先生のDNAをしっかり受け継ぎ、定期的に圧巻のパフォーマンスを繰り広げています。意志も実力もしっかり育てる証に、教え子の中には、各種コンクール優勝者、テレビ出演、チアドラゴンズのメンバーになった子ども。けれどMIE先生はハッキリと言います。「華やかな結果だけが全てではない」と。



先生には、レッスンに通ってくれる子供たちに、伝えたい言葉と願いがあるのです。「チアダンスに打ち込む日々とその姿は、あなた達の宝物。素敵に輝いてるよ。踊ることで、毎日が笑顔になれるように。自分をどこでもしっかりと表現できますように。それは、次の人生へのチカラに、きつとなるから！」

ポンポンと笑顔での表現に加え、ビートのきいた音楽で、会場いっぱいに踊るチアダンスパフォーマンス。年齢と経験が積み上がると、アクロバティックな要素も入ります。笑顔の裏側はいつも真剣勝負です。だからこそ、子供達には丁寧に繰り返し、しっかり身体に教え込ませます。ダンスのクオリティにも妥協なし。時には厳しい声も飛ぶその姿勢に、子どもたちはしっかり応えます。それは、楽しくてしかたないから。「MIE先生」を大好きだから。そして、一緒にめざすものはただ一つ。～ドームでかっこよく踊ろう！～



チアドラゴンズキッズ&ガールズ…高鳴る気持ちを胸に、少女たちはドームの入り口に立ちます。
「さあ！行くよ！」MIE先生の声をはじけたら、扉を開けて歓声と未来に向かって飛び出そう！